



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第43号
令和7年2月17日
「教育活動に関するアンケート」集計結果報告

四気とは・・・川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」の4つの気を大切にします！

令和6年度 12月実施【令和6年度 学校評価】

『川越中学校 令和6年度 学校教育活動に関するアンケート』集計結果より
生徒・保護者・教職員の三者比較のデータをもとにした、結果概要を報告いたします。

保護者の皆さまには、12月の三者懇談会期間中にアンケート記入にご協力いただき、ありがとうございました。「学校評価」は「令和6年度 学校教育ビジョン」に基づいて4月から取り組んできた本校の教育活動を、生徒・保護者・教職員でそれぞれ集計をし考察・分析いたしました。本校の成果と課題を明確にしながら今後の教育ビジョンにつなげていきたいと思ひます。

【令和6年度川越中学校教育ビジョン】

学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる」力の育成のもと

【目指す生徒像】・自分を大切にする・他者を大切にする・粘り強くやりきる

生徒

【目指す学校像】・人を大切にする・安全で安心できる・地域や保護者とともにある

学校づくりを目指します

『関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を柱として

一人一人の子どもたちを大切にしたい「5つの取り組み」をすすめます。

わかる・できた
と思える授業

生徒に寄り添う
生徒理解の充実

認め合う・支え合う
環境づくり

子どもたちが主体
となる自治活動

心とからだの健康

保護者の皆さまにお願いをしましたアンケート質問項目は以下の通りです。

1	目指す 人間 像	1	「川越町教育基本方針」に書かれている『5つの「SHOW」』（子どもとの関わりでお願いしたこと）を知っている。
		2	『やる気』お子様は、学校では、学習や運動に積極的に取り組んでいる。（朝読・帰り学習等を含む）
		3	『ほん気』お子様は、学校の『きまり』を守り、何事にも協力しながら一生懸命できている。
		4	『こん気』お子様は、家庭でも宿題をはじめとする授業の予習や復習などの学習に取り組んでいる。
		5	『げん気』お子様は、自ら進んであいさつができ、ていねいな言葉づかいができる。
2	授 業 の 充 実	6	お子様は、授業が丁寧でわかりやすいと言っている。
		7	お子様はTT（ティームティーチング：複数の先生で行う授業形態）による授業の方が良いと言っている。
		8	お子様は、授業の中で班活動など仲間との話し合う活動をよく行っているとっている。
		9	お子様は、自然教室・職場体験学習・修学旅行などの学習に意欲的に取り組めた。
		10	お子様の学習評価は、テストの点数だけでなく学習活動全体で評価されている。
3	学級 学校 生活	11	お子様は、学校行事や学級活動など、教科の学習以外の活動も積極的に取り組んでいる。
		12	お子様の所属する学級は、みんなが協力するまとまりのある学級となっている。
4	道徳 人権	13	先生たちは、教育相談等を通じて、お子様の相談に親身になって接してくれている。
		14	お子様は、周りの人や友達、自分にはそれぞれ「良いところがある」と思っている。
		15	学校は、道徳の時間や人権学習の授業に真剣に取り組んでいる。
5	心と からだ の 健康	16	お子様は、朝読書を含め、読書活動に意欲的に取り組んでいる。
		17	お子様は、部活動に積極的に取り組んでいる。（3年生は、取り組んでいた。）

6	学校全般	18	授業公開、三者懇談会、通信、ホームページなどで、学校でのお子様の様子がよくわかる。
		19	学校の施設は安全であり、お子様が安心して生活できる場所となっている。
		20	登下校時に地震が発生した場合の対応について話し合っている。
7	成長	1	この1年間でお子様の成長を感じている。
		2	1で「4」「3」と評価された方は、どんな点から感じましたか。 (あてはまるものすべてに○をつけてください。)
			■学力・学習面 ■体力・運動面 ■家庭学習の定着 ■会話・表現力 ■あいさつ ■人とのかかわり方 ■根気 ■家庭での役割 ■その他

【アンケートの回答について】

選択肢は・・・

■あてはまらない ■あまりあてはまらない ■だいたいあてはまる ■良くあてはまる
 の4つです。

■だいたいあてはまる ■良くあてはまる は、学校として肯定的にとらえた成果として。

■あてはまらない ■あまりあてはまらない は、学校としての課題として今後の改善が必要なもの。

以上のようにアンケート分析を行いました。別紙にまとめた質問項目別グラフ、主な項目の経年変化、考察・分析を記しました。



令和6年度の『教育活動に関するアンケート結果』から、川越中学校が目指すべき姿について

川越中学校学校教育ビジョンをより具現化した、見える化した、わかりやすい取り組みをすすめる。

『豊かな心』を土台とした、3年間を見据えて「確かに生きる力」を育成するために、すべての教育活動の根本に、「関わることを通して、人権が大切にされる『仲間づくり』」を柱として、一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組みを、子どもたちにも、保護者の皆さまにも、わかりやすく実践していきます。

- ・子どもたちの学ぶ意欲を向上させる「学び合う授業づくり」を進め、誰も一人にしない授業づくりを大切にす。
- ・「指導と評価の一体化」をすすめ、観点別評価の見える化を大切にし、日常的な授業改善をすすめる。丁寧でわかりやすい授業づくりを大切にする。
- ・「仲間づくり」を土台とした授業をすすめる中で、「安心して自分の思いを出せる授業づくり」をすすめる。

わかる・できた
と思える授業

認め合う・支え
合う環境づくり

- ・川越中学校が大切にしている人権学習をすすめ、教職員は「日々、人権学習」という意識と姿勢で子どもたちに関わり、「子どもたちがいじめや差別の加害者にも、被害者にもならない」人権尊重の風土を大切にする。そして、隣の人のしんどさやつらい思いに気づくことができ、寄り添うことができるように「人権感覚を磨く」ためにも、子どもたちと教職員が一緒になって人権について学んでいくことを大切にする。
- ・一人一人が安心して自分の思いを伝えることができる居場所づくり・環境づくりを大切にする。
- ・川越中学校の子どもたちの強みでもある「自己肯定感を高め、やる気を向上させる手立て」を教科授業だけでなく、行事等からも「できる」・「できた」・「うれしい」などという意識を高める取り組みを大切にする。

生徒に寄り添う
生徒理解の充実

- ・子どもたちが教職員に相談しやすい環境づくり。定期的な教育相談だけでなく、日々の教育相談を充実させる。担任だけでなく、副担任、教科担当、校内サポート一む、部活動担当など、学校のどの先生とも教育相談ができる体制づくりを進める。保護者が相談しやすい体制も整える。